

渋沢栄一から学ぶ

21世紀の日本のグローバル・エンゲージメント

1 インターナショナル・ファウンテン

2 論語と算盤： 『ただ王道あるのみ』

かの資本家と労働者の間は、従来家族的の関係をもって成立し来たものであった。余の希望を述べれば、法の制定はもとよりよいが、法が制定されておるからと云って、一も二もなくそれに裁断を仰ぐということは、なるべくせぬようにしたい。もしそれ富豪も貧民も王道をもって立ち、王道はすなわち人間行為の定規であるという考をもって世に処すならば、百の法文、千の規則あるよりも遥かに勝った事。

3 論語と算盤： 『合理的の経営』

その経営者一人がいかに大富豪になっても、そのために社会の多数が貧困に陥るようなことでは、その幸福は継続されない。



論語と算盤： 『論語と算盤は甚だ遠くして甚だ近いもの』

正しい道理の富でなければその富は完全に永続することができない。従って、論語と算盤という懸け離れたものを一致させる事が今日のきわめて大切な務である。

4 資本主義の原点： 滴（しずく）から大河へ



「第一国立銀行株主募集布告」

銀行は大きな河のようなものだ。銀行に集まってこない金は、溝に溜まっている水やポタポタ垂れている滴と変わらない。。折角人を利し国を富ませる能力があっても、その効果はあらわれない。

5 我がコト感



6 「グローバル・エンゲージメント」

企業が、持続的成長をはたすために、地球的課題について様々なステークホルダーと対話・協働して、共創すること



渋沢栄一から学ぶ

21世紀の日本のグローバル・エンゲージメント

7 SDG 持続可能な開発のための2030アジェンダ

<http://www.un.org/sustainabledevelopment/sustainable-development-goals/>



8 アフリカ起業支援コンソーシアム



日本AFRICA起業支援イニシアチブ

<http://entre-africa.jp>



8 「今日よりも、良い明日へ」 共感資本 世代を越えられる投資

コモンズ SEEDCap (社会起業家応援プログラム)



commons
asset management, inc.
<http://www.commons30.jp>

9 投資の本質